

明るい養老 赤旗日曜版 2017年12月17日 第892号

このビラは、緑の環境を守るため再生紙を利用しています。

発行：日本共産党養老町支部 連絡先：TEL/FAX34-0062（水谷）不在の時は留守電対応にしています

12月定例議会報告

読者の皆さん。会期を15日間とした12月定例議会が12月8日開会しました。

大橋町長は、開会冒頭の挨拶で1300年祭の評価も含め下記のように述べました。

～～歴史・文化・様々な魅力を発信～～
町民・ボランティアの協力で
成功裏に終わりを迎えている

特徴を生かした「地域の日」
住民相互の絆が深まった

インフラ整備が進む
更なる発展に取り組みたい

自然の猛威にさらされた年、職員の危機管理意識を図り町として出来ることを最優先する

空き家対策・人口減・定住移住など住民の意見を大切に、町の明るい未来にまい進したい

3月20日のオープニングセレモニーで始まった1300年祭も12月23日のクロージングセレモニーで終わりを告げます。

このイベントの総括や検証こそが重要です。
読者の皆さんの率直な声をお聞かせください。

一般質問に6議員が通告

田中・松永・大橋・早崎・岩永・水谷

質問日は、12月21日
～議会傍聴にお出かけ下さい～

※水谷議員の質問項目は、裏面に掲載

2017年12月17日 第892号

平成29年度内の事業見込めず

(仮)養北認定こども園建設工事設計委託料繰越明許費対応！

9月議会で議決された上記見出しの予算1400万3千円が12月議会で繰越明許費で予算を確保することが議会に提案されました。

この問題では、9月議会の総務・民生委員会で「多く住民の声を聞き、町の説明責任を果たし慎重審議の対応を求め」修正案を提案し修正案賛成で議決した予算です。(本会議では、原案賛成で委員会の修正案は否決)

10月27日付で下記の要望書が議長宛に寄せられています。担当課長は「事務上6か月が必要で12月では年度内に入らないため」と答弁しましたが改めて9月議会の各議員の資質が問われま

平成29年10月27日

養老町 議会議員議長
青山貞一様

養老町区長連絡協議会 会長 安田 澄雄
小畑地区 区長会長 高木 一
多芸東部地区 区長会長 川瀬 豊
小畑、多芸東部両地区8区 区長 全員

養北認定こども園 に関する要望書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
標題の件につきまして、下記の内容にて、要望いたします。

敬具

記

[要 望 内 容]

- 1 養北認定こども園に関しましては、鋭意進められていることにつきまして感謝申し上げます。
- 2 今般、諸般の事情により、当初のモデルケースで、できなくなったことは甚だ遺憾であります。
- 3 特徴がすべてなくなり、縮小して進めることは、近い将来に禍根を残すことになり得ると懸念しています。
- 4 現状の位置、土地の問題、将来の人口減少を想定すると、一度じっくり考え直すのが得策では…と思われま。
- 5 現在のごとく早急に進めるのではなく、この機に地域の意見を再度聞いていただきたく強い思いでいます。(ピンチをチャンスと捉え)(耐震問題は早急に実施を)
- 6 養北小校下におけるこども園の問題は、現計画は勿論、将来を見つめてもっと大きな北部地域全体で(また養老町全域として)検討委員会(仮称)を設置するなどして進めるべきことを要望します。
- 7 これらの施設に必要な職員の確保を、早急かつ確実に行ってください。職員の皆様方にも不安が広がっています。
- 8 以上ですが、将来的にやって非常に良かったと言われるような建設計画の意見集約を地域全体で実施してもらいたい。